CURTAIN PLANNING GUIDE

カーテンはお決まりですか？でも、どのように操作しますか？レギュラーカーテンと Wave カーテンの違い、必要なスペースは？どのように吊りますか？どの位置に束ねますか？

ご安心ください！70 年以上にわたるカーテントラックの製造とカーテンの縫製経験を持つ Silent Gliss が、カーテンの価格、外観、そして性能に影響を与える重要な決定をサポートいたします。

Hands on or Hands off?

カーテンの操作方法を検討する必要があります。

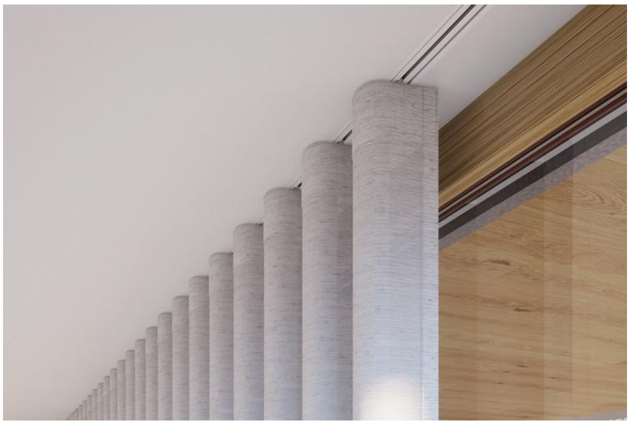
- **手引操作**は最も低価格であり、カーテントラックを自由に設計し設置することができます。カーテンを手で動かす手間が掛かるという不便さはあります。ファブリックを傷めないようにしたいときは、バトン(ドローロッド)の使用をご検討ください。
  - **紐引操作**はファブリックに触れることがなく、より便利ですが、長さと重量に制限があります。
  - **電動操作**は最も豪華で便利ですが、価格も高くなります。壁スイッチ、リモコン、オートメーションシステムなど、豊富な操作オプションからお選びいただけます。

Ceiling, wall or recess fitting

壁正面設置にはＬ字型ブラケットを使用します。ダブルレールも可能ですが、ブラケットの長さによりカーテン上部の選択肢が厚みなどで制限される場合があります。

天井設置は、天井から床まで届くシングルやダブルでのカーテンを提案できます。カーテンを 2 枚吊る必要がある場合(例えば、日射しの眩しさを抑えるシアーカーテン、夜間の遮光カーテンなど)、2 つのカーテントラックシステムを設置するためのスペースをご検討ください。カーテンボックスやスペースが限られている場合は、カーテン上部のスタイルを組み合わせることをご検討ください。

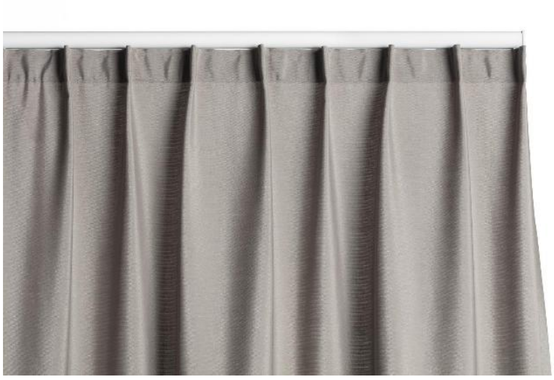
埋め込み設置とは、天井構造に溝を作り埋込式カーテントラックを設置することです。カーテンが天井から吊り下がっているように見えます。



GET YOUR HEAD AROUND HEADINGS

Do you know your pleats from your Wave?

トラディッショナルなレギュラーカーテンには、シンプルなペンシルプリーツからトリプルプリーツ、そして精巧なゴブレットプリーツまで、幅広い種類があります。プリーツヘディングは通常、カーテンフックとカーテンの上部に縫い付けられたテープで、カーテントラックのグライダーを繋ぎます。このタイプのヘディングには、標準タイプのグライダー付きのカーテントラックをご注文ください。



Front and reverse side of a typical pleated curtain

一方、Silent Gliss Swiss Pleat は、カーテンに縫い付けられたグライダーを使用し、カーテントラックにフィットします。よりトラディッショナルなカーテンデザインとして調和し、ユニークで繊細、控えめなカーテンを実現します。

Silent Gliss Swiss Pleat front view

Silent Gliss Swiss Pleat reverse view

Making waves

Wave カーテンのヘッディングは、トラディッショナルなカーテンを印象的でモダンなデザインへと変貌させます。カーテンを閉めると波打つような曲線が美しく、開けるとすっきりとした束なりへと変化します。

Silent Gliss Wave front view

Silent Gliss Wave reverse view

Wave カーテンは、フックとグライダーのピッチを複数ご用意しており、柔らかくフラットなデザインから、深い曲線まで、様々なデザインに対応しています。

Wave カーテンは、カーテントラックまたはポール内に専用のコード付グライダーを付属させますので、ご注文時にご指定ください。カーテンメーカーも、追加部品の手配が必要となるため、事前にご指定いただく必要があります。

すでにファブリックが決まっている場合は、その織りが Wave に適しているか確認する必要があります。この簡単なチェックで、ファブリックの吊り下がり具合をしっかり確認できます。

Spaces out

カーテンを取り付けるためのスペースは非常に重要です。カーテンのヘッディングによって必要なスペースは異なります。

Pleated

Wave

プリーツ加工されたヘッディングは通常、上部で 100～140mm のスペースが必要です。Wave カーテンはフック間隔に応じて、システムごとに 140～220mm のスペースが必要です。

一方、下部ではカーテンのフレアを考慮する必要があります。プリーツ加工されたヘッディングは、カーテン全体の 1.5～2 倍以上の束なり幅となりかさばります。Wave カーテンはすっきりとした束なりになるため、必要な束なり幅はカーテンヘディングと同じになります。

Doubling up

ダブルでカーテン(例えばシアーカーテンと遮光カーテン)を設置する場合は、設置スペースを考慮する必要があります。設置スペースが限られている場合は、カーテンヘディングのスタイルを組み合わせることもご検討ください。

Curtain heading option	Approximate space required
2x レギュラーカーテン	205-255mm
2x Wave カーテン	245-325mm
レギュラー + Wave カーテン	225-305mm

上記の推奨距離には、2 枚のカーテンの間に 5mm 以上の隙間が含まれています。
必要なスペースをイメージするために、カーテンの前面にマーキングして確認を行なえます。

Stacking up

Pleated

Wave

カーテンを開けたとき、カーテンはどこに重ねて収納し、どれくらいのスペースを取りますか？壁に沿わせますか？それとも、懐を設けて奥まった場所に収納しますか？

プリーツカーテンは、束ねて収納するとカーテン全体の幅の約 33%になります。ウェーブカーテンは収納スペースが少なく、通常約 23%です。